

平成29年度全国統一防火標語

「火の用心
ことばを形に
習慣に」

たかつき消防団だより

http://www.fd-takatsuki.jp/cgi-bin/119/rescue/display_topics_list.cgi?bunrui=syobodan

第 56 号

平成29年 6 月15日

発行

高槻市桃園町4番30号

高槻市消防団

電話 674-7980

鵜殿のヨシ原焼き

五領分団 道鶴班
団員 入江 修

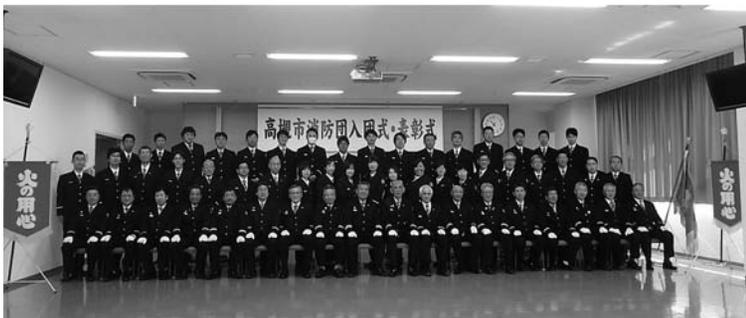
平成二十九年二月二十六日(日)「鵜殿のヨシ原焼き」が行われました。前年の中止を踏まえ、予備日も二週に亘って確保されておりましたが、好天に恵まれたおかげで当初予定日に無事に集合して打ち合わせ、各所の

安全確認を済ませたあと、点火担当のヨシ原保存会の方々と報道の方々、及び消防団員でヨシ原に入りまし、風向き等を考慮して本部からの指示で配置場所へ全員移動し、午前九時、点火。そのころには堤防に、かなりの見物客の姿が見られました。

今年は風も穏やかでヨシの乾燥具合もよく、比較的綺麗に燃え進んだお陰でつづがなく終えることができました。ヨシ原焼きは文化的にも稀有な財産であるという認識を含め、他所では滅多に行き事、消防団員として関わるという得難い経験です。

平成二十八年度消防団員教育訓練 「幹部科 現場指揮課程」

清水分団 分団本部
副分団長 今道 浩史



平成二十八年十月二十三日、十一月十三日の二日間、大阪府立消防学校で平成二十八年度消防団員教育訓練「幹部科 現場指揮課程」に参加させて頂きました。

初日は救命処置と自動体外式除細動器使用の再確認を行いました。教官からは実際の現場での経験談を聞かせて頂きました。午後からは火災現場で放水による消火活動での指揮者の立ち位置や指揮方法の訓練が実施されました。

平成二十八年度消防団員教育訓練 「幹部科 分団指揮課程」

阿武野分団 分団本部
副分団長 久保田 育仁

平成二十九年一月二十二日、大阪府立消防学校において平成二十八年度消防団員教育訓練「幹部科 分団指揮課程」の研修が行われました。今回の研修の目的は、指揮幹部としての責任意識の養成及び消防団組織の管理運営と活性化に係る広い見識の向上を図るとともに、災害時の消防団に期待される役割及び活動

の在り方等の理解を図るといふものでした。大阪府下の消防団から参集した総勢七十名のうち高槻市消防団から二名が受講しました。午前中は、消防活動と安全管理について、安全・確実・迅速に」という言葉があります。そのためには、現場最高指揮者の下で組織的な活動をしなればなりません。安全管理で大事な事は、組織の宝である

この受講からは、出勤時現場到着時の団員への指揮、命令の仕方と心構えを勉強しました。今後、今回の研修の内容を充分に役立てて訓練や災害出動の際に対処していきたいと思います。

平成二十八年度消防団方面連携訓練

大冠分団 冠班
班長 田中 靖弘

平成二十八年度消防団員 特別教育訓練「機関科 可搬ポンプ課程」

三箇牧分団 唐崎班
団員 中尾 誠



平成二十八年十一月二十日(日)に大阪府立消防学校で行われた平成二十八年度消防団員特別教育訓練「機関科 可搬ポンプ課程」に参加し、当日は大阪府下の市町村の団員が参加されました。

まず、消防隊指揮者の方より消火栓開閉の手順、次に貯水槽の仕組みを教わり、消火栓の開閉は初めて行う団員が多く緊張し真剣に聞いていました。教わった事を思い浮かべ、消火栓に吸水管を接続し、放水開始から終了まで行いました。

最初は、戸惑いながらの作業でしたが、二回目、三回目になると動作スピードも速くなり、参加団員の士気も上がっていました。訓練終了時、参加消防団員が整列し、中消防署の指導員の方、各分団幹部の方より講習をいただき、方面隊合同訓練が終了しました。

阿武野分団 塚原班
団員 岸田 元宏

平成二十九年二月十二日、阿武野地区において芥川分団と阿武野分団の方面隊連携訓練を行いました。規律を中心とした訓練です。整列、気をつけ、敬礼の姿勢。右向け右、まわれ右、かけ足止まれの動作などの指導を受けました。これらは今までに習っていた事なのですが、急な号令や立て続けの号令では混乱してしまいました。

参加者全員が指揮役を体験することが出来ました。号令は人によつて差があり、この事が良い悪いの参考になります。「まわれ右」より「まわれ左」、右のように予令を入れないと動きにくく、目的通りに隊を動かすためには号令の組み合わせが重要で、気をつける姿勢から次の動作に移ることが基本となります。

高槻市消防音楽隊
火の用心コンサートに
参加して

団本部
団員 江藤 由紀子

平成二十九年三月十二日、イオン高槻店で行われた高槻市消防音楽隊の火の用心コンサートに参加しました。女性消防団員の担当は「森の消防団」という防火紙芝居です。会場にたくさんの方が来られ大変嬉しかったです。紙芝居は第一部の演奏の後からでしたので、音楽隊の後方に整列してました。

紙芝居はカブトムシくんがランパに着た火事になって、森の消防団が消火するという内容です。今回五名での参加だったので、一人二役のため役がちがうのと同じ声が続ぎ、また小道具を出し忘れる等、反省点がありました。今後には生かして行きたいと思えます。子ども達には火事の怖さをお伝えできたのではないかと思います。今後でも広報活動を行っていきたいと思っております。

午前中はポンプメーカーの方の講師によるポンプの保守点検の仕方や運用する時に注意する事、中継送水の方法等を学びました。午後からは午前中に学んだ事を踏まえて六つのグループに分かれて実際にポンプを使用した中継送水を行いました。実際に行ってみると日頃の訓練等で行っている事が少し間違っている事、間違った操作ではポンプの故障につながる事、大変勉強になりました。この一日で学んだ事は今後の活動の中で私の在籍する分団や班の人達に伝えていき、分団の技能の向上が出来るように頑張っていきたいと思

実際に、火災や災害が発生した時この様な事もあると改めて認識し大変良い勉強になりました。最後に、中消防署の指揮者の方、消防隊員の方々丁寧に指導頂き誠にありがとうございました。

名、筒先担当三名で作業していましたが、筒先担当が途中で辛そうになつてきたので、他の分団から二名応援に来てもらい、なんとか最後まで無事務めることができました。

屋からは、南海トラフ地震発生、津波の心配はないが地域では火災が発生している想定での現場対応を消防団幹部としてどのような行動又は指揮をとるか話し合いを行いました。

実は六年ほど前にも同じ場所で送水訓練をして、そのときも杉生班が放水を担当していたのですが、吸水の圧が高すぎてポンプを破損させてしまつたというハプニングがありました。今回はその教訓を活かして、ポンプの圧が上がりすぎた時のために、逃がし弁付き中継媒介金具を取り付けていたのでポンプは壊れずに済みました。

今回の長距離送水訓練では急傾斜地ということもあり、ホースの途中に分岐管を使用したり、無線機を使って連絡しあったりと、普段使用する機会が少ないものを使用できたことは大変有意義でした。檜田地区は山林が多いので、万が一林野火災が発生したときに今回の訓練が役に立つものと思



平成二十九年三月五日(日)原の中央砕石敷地内に於いて、清水分団、高槻分団と合同で、方面隊連携訓練を行いました。内容は川から水を吸水し、その後清水分団消防ポンプ積載車両八

檜田分団 杉生班
班長 田村 貞博

表彰

平成二十九年春の褒章

藍綬褒章

分団長 鳥野 忠澄

消防庁長官表彰

・永年勤続功労章

山城 信彦 (富田分団本部)

大阪府知事表彰

・消防勤続功労章

奥 正雄 (清水分団本部)

木下 修 (清水分団本部)

寺本 幸司 (如是分団本部)

北島 弘之 (如是分団本部)

宮西 康成 (高槻分団)

安宅 賢 (高槻分団)

安井 勝彦 (芥川分団)

松本 清 (前島班)

西岡 和雄 (山手班)

久保 秀信 (成合班)

山本 節也 (浦堂班)

井川 勲 (萩谷班)

久保田茂幸 (下田部班)

藤原 宏 (如是分団本部)

原水 誠 (富田分団)

田村 貞博 (杉生班)

高槻市消防団

・功績章

平野 英明 (団本部)

・精進章

窪田 保憲 (団本部)

窪田 保憲 (団本部)

窪田 信夫 (磐手分団本部)

高井 秀次 (西冠班)

大西 真二 (二料班)

大阪府消防協会会長表彰

・功績章

仲俣 修一 (真上班)

高木 真吾 (津之江班)

中西 文彦 (津之江班)

岡田 隆男 (庄所班)

濱 多賀夫 (柱本班)

舛井 秀和 (富田分団本部)

神 浩二 (中畑班)

丸野 史博 (高槻分団)

輕墓 祥行 (芥川分団本部)

黒田 義幸 (道鶴班)

中野 勝也 (道鶴班)

高 悟万佐 (安手班)

田中 雄一 (山手班)

田村 智哉 (別所班)

向井 均 (土室班)

波羅 富春 (塚原班)

齋藤 一 (宮田班)

河村 正 (大塚班)

橋長 巨 (野田班)

吉田 幸嗣 (東天川班)

藤原 宏 (如是分団本部)

岸田 祐和 (東五百住班)

川中 健史 (唐崎班)

高田 裕士 (西面班)

伏見 能成 (出灰班)

・精進章

根本 隆子 (団本部)

河野 浩平 (芥川分団)

圓實 純 (萩之庄班)

南本 純治 (梶原南班)

小野 達史 (安満班)

久保 正幸 (成合班)

田中 治 (奈佐原班)

久保津也 (赤大路班)

近藤 規仁 (宮田班)

吉田 秀也 (氷室班)

氏原 健司 (宮之川原班)

藤木 明彦 (原班)

三木 明夫 (真上班)

鈴木 貞幸 (萩谷班)

吉田 秀也 (氷室班)

氏原 健司 (宮之川原班)

藤木 明彦 (原班)

三木 明夫 (真上班)

鈴木 貞幸 (萩谷班)

萬 行司 (冠班)

高島 隆男 (下田部班)

高木 章博 (津之江班)

荒谷 竜治 (庄所班)

松田 功次 (芝生班)

木田 光男 (三島江班)

佐藤 望美 (柱本班)

高木 秀之 (富田分団)

鈴木 博士 (二料班)

・1号表彰

根本 隆子 (団本部)

・2号表彰

植田 英樹 (上牧班)

西岡 和雄 (山手班)

宗友 慎治 (別所班)

加賀山 元 (古曾部班)

伊藤 健司 (宮之川原班)

氏原 章 (大蔵司班)

古藤 隆一 (番田班)

服部 幸彦 (下田部班)

久保田茂幸 (芝生班)

櫻村 幸彦 (東五百住班)

岸田 祐和 (唐崎班)

西口 一彦 (柱本班)

吉崎 貴司 (田能班)

木村 憲司 (中畑班)

・昇任者

久野 京子

荻野 明子

伊藤 昭久

正野 義弘

岩本 光弘

眞田 康平

梶村 俊明

塚本 潤

濱田喜久子

森川 恵子

久野 京子

荻野 明子

伊藤 昭久

正野 義弘

岩本 光弘

眞田 康平

梶村 俊明

塚本 潤

近藤 規仁

西田 昌範

岸田 和秀

西野 建次

日野 浩

奥野 浩

藤 恵一郎

奥田 正雄

門川 賢次

宮本 隆史

河本 勢一

竹本 陶太

辻 嘉英

西口 貴司

北舎 亨

吉田 直之

大塚町班

北川 聡

森本 靖章

安藤智恵美

西田 泰明

一本 久次

松本 清

林 敬司

寺田 義弘

向井比呂志

深井 謙一

吉田 茂人

中島 秀志

吉田 孝雄

中務 宏

西田 正美

吉田 直之

大冠分団

北川 聡

野田 茂人

中島 秀志

吉田 孝雄

野田 茂人

中島 秀志

野田 茂人

中島 秀志

吉田 孝雄

野田 茂人

消防ポンプ積載車更新

阿武野分団 氷室班

班長 松本 隆幸

平成二十八年十二月三十日、消防活動を十七年間の長きに亘り支えてくれた消防ポンプ積載車の更新を迎える事となりました。

新車両に搭載されている消防小型動力ポンプは、4サイクル3気筒エンジンとなり以前のものと比べて低騒音になっています。また、車両もミッションからオートマチック車に変更となり運転もしやすく更になりました。

さらに、収納スペースに閉してもLEDライトが装着され夜間でも資機材が確認しやすく作業効率が良くなりました。

車両も新しくなると、阿武野分団氷室班の団員一同、心を新たにこれからの各種活動で地域の皆様への貢献が少しでも出来る様に、消防団活動に励みます。

最後に新車両購入に御尽力頂きました自治会・実行組合・財産管理組合および、消防本部の皆様には、心から感謝を申し上げます。

如是分団 東五百住班

団員 高谷 利一

昨年の十一月十三日に班員待望の消防ポンプ積載車が来ました。

二十三年ぶりの更新でした。

旧車両はクラッチ付きの車で、クラッチ無しの車の運転に慣れた班員ばかりで、一部の班員しか運転出来なかつたので、これで班員全員が運転出来る様になりました。これも地元の自治会と消防本部、消防団本部をはじめ、関係各位の皆さまの御協力の賜物と、班員一同大変感謝しております。



点検結果については6件の二重固定の指摘があったものの、機械等は概ね良好であることが確認されました。尚、バッテリー交換の不手際により当日点検を実施できなかった車両が1台あり、複数名で確認しながら作業すれば防げたトラブルと思われまふ。

今後とも普段の自主点検には万全を期していただき、訓練及び出動の際には十分に安全を確保した上で、活動していただくようお願いいたします。

《占検結果》

実施日 平成二十八年十二月二十日

実施場所 消防本部他三箇所

実施結果 小型動力ポンプ関係 良好

防災資機材関係 11件

積載品固定不備 6件

《総括》

点検結果については6件の二重固定の指摘があったものの、機械等は概ね良好であることが確認されました。尚、バッテリー交換の不手際により当日点検を実施できなかった車両が1台あり、複数名で確認しながら作業すれば防げたトラブルと思われまふ。

今後とも普段の自主点検には万全を期していただき、訓練及び出動の際には十分に安全を確保した上で、活動していただくようお願いいたします。

《占検結果》

実施日 平成二十八年十二月二十日

実施場所 消防本部他三箇所

実施結果 小型動力ポンプ関係 良好

防災資機材関係 11件

積載品固定不備 6件

《総括》

点検結果については6件の二重固定の指摘があったものの、機械等は概ね良好であることが確認されました。尚、バッテリー交換の不手際により当日点検を実施できなかった車両が1台あり、複数名で確認しながら作業すれば防げたトラブルと思われまふ。

今後とも普段の自主点検には万全を期していただき、訓練及び出動の際には十分に安全を確保した上で、活動していただくようお願いいたします。

《占検結果》

実施日 平成二十八年十二月二十日

実施場所 消防本部他三箇所

実施結果 小型動力ポンプ関係 良好

防災資機材関係 11件

積載品固定不備 6件

《総括》

点検結果については6件の二重固定の指摘があったものの、機械等は概ね良好であることが確認されました。尚、バッテリー交換の不手際により当日点検を実施できなかった車両が1台あり、複数名で確認しながら作業すれば防げたトラブルと思われまふ。

今後とも普段の自主点検には万全を期していただき、訓練及び出動の際には十分に安全を確保した上で、活動していただくようお願いいたします。

これから主な行事

七月三日(日) 消防団員健康づくりセミナー

七月八日(土) 大阪の消防大賞

八月二十日(日) 大阪府消防協会三島地区支部消防総合訓練

九月三日(日) 第六十二回大阪府消防大会

九月三十日(土) 第二十三回全国女性消防操法大会

十月三日(金) 文化の日記念式典

十一月九日(木) 秋全国火災予防運動

十一月下旬 主力機械特別点検